

すすむ
ふくい 進 通信

第11号

〒520-3322 甲賀市甲南町深川1628 発行責任者 福井 進
TEL 090-1890-9302 FAX 0748-86-7860 Mail ruijifukui@yahoo.co.jp



おも しせい
あなたの思いを市政につなぐ！
～あなたの声を聴かせてください～

おかげさまで、市民のみなさんからたくさんのご意見・ご要望を届けていただき、忙しく仕事をしております。これからも、みなさんと共に誰もが住みよいまちづくりにとり組んでまいりますので、よろしくお願い致します。

しゅうがくりよこう すす おきなわばな
修学旅行…進む！「沖縄離れ」

昨年秋、市内中学校の先生から、「やがて沖縄修学旅行をあきらめることになるかもしれません！」という相談をいただきました。
・・・理由は、物価高による費用の高騰です。

また、5月11日の京都新聞に次のような記事が掲載されました。
* 昨年度、県内16校が沖縄方面から九州北部へ変更！（中学校校長会）
* こどもたちにつけたい力を考えると、沖縄の選択肢はあったほうが
いいが…！（教育委員会）

みなくちちゅうがっこう ひろ おきなわしゅうがくりよこう
水口中学校から広がった沖縄修学旅行

滋賀県内の中学校で、最初に「沖縄修学旅行」を実施した水口中学校。当時、滋賀県内の中学校で飛行機を利用した修学旅行の前例がなく、水口町・滋賀県教育委員会と協議をされ、飛行機は2便に分かれて搭乗されました。いじめや差別解消を願う地域の願いと学校の思いが重なり合って実現しました。その後、沖縄ので充実した内容等から、県内の多くの中学校に広がりました。甲賀市でも、これまでに「約1万4000人」の中学生が、沖縄修学旅行に参加しています。

おきなわ
沖縄をあきらめた・・・2002年！

2001年に始まった沖縄修学旅行が、その翌年だけは「長崎」に変更されました。理由は、2001年9月11日に発生した「アメリカ同時多発テロ事件」です。事件後、米軍基地が集中する沖縄への観光客は激減。そのような中、文科省から「韓国・沖縄への修学旅行を予定している学校は、格別の注意を！」との注意喚起の文書が発送されました。先生方は、何度も何度も話し合いをされ、「沖縄」を断念して「長崎」に変更されました。アメリカで起こった事件が、中高生の修学旅行に影響したのです。・・・基地問題の現実です。

へいわがくしゅう ひ がりようこ ことば
**平和学習での比嘉涼子さんの言葉
「足もと」での平和創りを！**

「あなたの学級・学校は、平和ですか。いじめや差別で苦しんでいる仲間はいませんか。あなたが困ったとき、助けてくれる友だちや先生はいますか。みなさんは、みなさんの身近な『足もと』で仲間といっしょに平和を創ってください！」

教員時代の水口中学校沖縄修学旅行



チビチリガマの前で聴く平和ガイド比嘉涼子さんの言葉は、生徒にとっても、教師にとっても「腹にズシン！」と収まる言葉です。私も水口中学校勤務時代に4回の沖縄修学旅行に参加し、この体験がその後の学校生活に大きく影響することを生徒たちと共に体感しました。

しゅうちゅうがっこう しゅうがくりよこう しえん ひつよう
小中学校の修学旅行への支援が必要！

多くの中学校では、修学旅行の契約が二学期にされ、その後積立が始まります。旅行会社の担当者に話を聞くと、昨年契約された来年度の修学旅行について「バス代等の大幅な高騰により、予定の費用に収めるためには、行程等の変更が必要になる。」とのことでした。全ての学校で、思い出深く・学びの多い修学旅行を実施するためには物価高分の支援が必要です。

1、^{しょうちゅうがっこう}小中学校の^{しゅうがくりょこうとう}修学旅行等への^{しえん}支援を！

今年も、各学校で修学旅行の計画をされますが、急激な物価高騰による影響が心配されます。そこで、「小中学校の修学旅行等への支援を！」と題して質問・提案をしました。

質問：市内中学校の「沖縄修学旅行」の状況について（広がり・延べ参加生徒数・費用）

（答弁）合併前の2001年度に水口中学校が、滋賀県内初として実施したのが始まりです。その後、2005年度から甲賀・甲南・信楽中学校、2011年度には城山中学校、今年度は土山中学校が実施しました。現在では、市内中学校の主となる行き先となっています。コロナ禍を除き、沖縄修学旅行に参加した生徒数は、延べ1万4000人程となっています。今年の費用は平均で7万4543円、2019年に比べて5,231円の上昇となっています。



質問：沖縄修学旅行の意義について・・・【教育長へ】

（答弁）激しい地上戦が行われた戦争の悲惨さ、復興にみる平和の尊さ、そして現在の基地問題等について体験的に深く学ぶことができること。紺碧の海でのマリン体験や民泊での体験活動を通して、豊かな自然を肌で感じ、琉球文化への見識を広め豊かな心を育てることができると認識しています。

質問：修学旅行への支援（過去・現在）について

（答弁）（旧町時代から各町で補助があり）合併後は、要綱に基づき小学生一人当たり2,500円、中学生一人当たり5,000円の補助していました。（2010年度まで）また、2020年度には、コロナ感染による中止・キャンセル料に対する補助を行いました。現在は、要保護・準要保護児童生徒等に対して、規定額を限度として経済的支援を行っています。（現在、全児童・生徒を対象とした補助はありません。）

質問：子育てNo.1に向けての修学旅行への支援について・・・【市長へ】

（答弁）修学旅行は、普段とは異なる生活環境の中で、知見を広げながら友だちとの絆を深めることが出来る大変重要な行事であると共に、一生の思い出となる貴重な教育活動であります。昨今の物価高騰による保護者負担を憂慮しており、教育委員会を通じて学校とも十分に相談の上で、今後の対応について検討してまいります。

2、^{ほうかごとう}放課後等^{しせつ}デイサービス施設とその^{りようしや}利用者への^{しえん}支援を！

本年度「放課後等デイサービス」に関する法律が改定され、療育現場からたくさんの切実な声を聴かせていただきました。今回の改定で、これまでの放課後・休日という2つの設定（旧制度）から時間区分による3段階（新制度）の設定に変更されました。そのために、事務作業等の負担増による「サービスの低下」や報酬改定による「運営時間の短縮」等の課題が生じています。

現場の声

「春休みは、長時間（10時間）の療育・預かりを継続したが、夏休みはできなくなる！」
「通達が直前で、事務作業が混乱し、県にも問い合わせたが十分な説明がなく困っている！」
「報酬改定で支援員等の確保ができなくなる！」…等々。

この悲鳴は、利用する障害のある子どもやその保護者に大きな影響を与えることにつながります。そこで、放課後等デイサービス施設と利用者の支援について、質問・提案をしました。

質問：放課後等デイサービスの役割について(学童保育とのちがい等)

（答弁）放課後等デイサービスは、6歳から18歳までの障がいのある児童生徒に対して、平日の放課後や休日に「療育」を目的に行う福祉サービスです。学童保育は、保護者が就労等の理由により保育できない小学生に対して、「保育」を目的に行うもので、同じ福祉サービスですが、対象範囲や利用目的にちがいがあります。尚、学童保育に通っている障がいのある児童に対しては、加配の配置等を行っています。

質問：国が行った改定の理由について

（答弁）障害福祉サービスの報酬について、サービスの質を担保することを目的に見直されました。

質問：施設の現状（悲鳴）について、どのように把握しているか

（答弁）事業者には、事務作業の増加から新たな人材確保の必要性が高まること等の不安の声が上がっていることは認識しています。

質問：障がいのある子どもたちやその保護者にどのような影響が考えられるか

(答弁) 事業所の経営状況が厳しくなり、サービスの縮小があってはならないと考えています。もう少し、現状を見極める時間が必要であると考えています。

質問：障がいのある利用者や保護者への影響に対する市の対応について

(答弁) 改定に伴う事業所の状況を把握すると共に、調整会議の「子どもの支援連絡会」等の体制づくりを支援し、国や県からの情報収集に努めて後方支援を行っていきます。

質問：子育てNO,1に向けての支援について・・・【市長へ】

(答弁) 国の報酬改訂は、事業の更なる充実を後押しするものと期待をしていますが、事業所の方々から実態にそぐわないといった不安の声があり、利用者の不利益が生じるとするならば、国や県に対して見直しを要望していくなど、しっかりと対応したいと考えています。

***長時間運営を継続するために「日中一時支援制度」の活用等を提案しました。**

新たなヤングケアラーにもつながる

ヤングケアラーとは、『本来おとなが担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子ども』のことをいいます。その責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響がでてしまうことがあります。

例…障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。
(厚労省「ヤングケアラーとは」より)

この問題の要因は、ヤングケアラーの当事者となる「子ども」にあるのではなく、ケアを必要とする家族に対する『社会的な支援がないこと』が主な要因です。放課後等デイサービスの利用時間の短縮されれば、放課後や夏休み等に「障がいのある子ども」の居場所がなくなり、新たなヤングケアラーをうむことにもつながります。



甲賀市内には8カ所の放課後等デイサービス施設があり、職員さんが利用者の学校や家庭への送迎をされています。一昨年度には、甲賀市で162名の障がいのある子どもたちが利用していました。2022年12月9日、吹田市の施設で送迎中に行方不明になった中学生が死亡するという痛ましい事故(事件)が発生しました。国は、問題が生じると直ちに有識者等の意見を聞いて対策を講じます。その対策が有効な場合もありますが、現場感覚が不十分なために、課題が生じることがあります。市民に近い自治体は、その対応に知恵を絞って対策をしなければなりません。そして、市民の声を元に、国・県に対して必要な働きかけをしなければなりません。

6月定例会…予算委員会より 6月25日

一般会計補正予算に関する予算委員会が行われました。補正額は10億9669万9000円です。19事業のうち主な事業として、昨年の一般質問で提案した「中学校体育館への空調設備設置事業」が含まれています。委員会では以下の2事業について質問をしました。

『市内6中学校の体育館に空調設備を整備する事業』 8億3920万1000円

質問：中学校の「特別教室」と「体育館」の空調設備の整備日程について

(答弁) 今回の補正予算(体育館)が認められましたら、8月中の契約、12月中の整備を考えています。3月に認めていただきました「特別教室」への整備も同時期になる予定です。(中学校の特別教室への整備は、今年の夏に間に合わせることはできませんでした。)

***省エネ対策として、断熱設備の整備について検討するように要望しました。**

『放課後児童クラブのおやつ代の物価高を支援する事業』 338万4000円

質問：障がいのある児童・生徒が利用する放課後デイサービスへの支援について

(答弁) この事業は、学童保育の運営者に対する県費(1/2)を含む支援で、放課後デイサービスは対象となっていません。

***放課後デイサービス施設への支援を市独自で検討すると共に、障がいのある児童・生徒への支援として、県に対して働きかけをするように提案しました。**

「子育て・子育てNO,1」に向け精一杯に取り組むことを述べ、質問を終わりました。

甲南駅の周辺整備…その後

ニューポリス団地からの坂道

甲南町のニューポリス団地と甲南駅をつなぐ長い坂道に溝ぶたが設置され、水があふれることが少なくなりました。

しかし、落ち葉が詰まってしまうと溝ぶたがあるため、簡単に取り除くことができなくなりました。

4月13日・・・地域の方から「溝が詰まった」との連絡があり、近所の方と協力して連結している溝ぶたを外して落ち葉を取りました。(4月13日の朝)

5月28日・・・前夜からの大雨で溝ぶたが押し上げられ、道路に水があふれ出しました。地域の方からの連絡を受けて、現場を確認してから市役所に行き、現状報告と対応をお願いしました。

その後、市役所が深川区と話をし、小学生の下校までに対応していただきました。



(朝の様子 - 固定した溝ぶたがはずれ、道路に水があふれる)



(午後の様子 - 対応後)

葛木区(甲南病院)から甲南駅方面へ

6月末の完了予定だった葛木方面から甲南駅をつなぐJR線北側市道の側溝工事が、住民のご理解・ご協力もあり、4月末に完成しました。道幅も広がり、舗装もきれいになりましたが、速度には十分に注意が必要です。



(工事中の市道 - 3月末撮影)



(整備がされた市道 - 4月28日)

甲南駅北口への自動車乗入

今年度中に完成予定の「甲南駅北口」の工事について、多くの声を届けていただいています。市役所に確認したところ、「施工業者が決定したのち日程等の計画ができましたら、地元への説明会を開催します」とのことです。

自動車の乗り入れが可能になると利便性は向上しますが、併せて小学生の通学経路・交通事故等々の対策も考えなければなりません。



(現在は車両進入禁止の甲南駅北口)

ゴミステーションの移動

甲南駅北側の開発等に伴い、収集車が迂回できなくなったことで深川区第8組のゴミステーションが、市道沿い移設されました。シルバーカーにゴミを乗せて毎月10回以上、踏切を渡ってゴミステーションへ片道300m程を往復されている方もおられます。駅周辺の市道が開通すれば、近くの市有地に移設することができます。深川区でも移設申請の準備をいただいています。もう少し時間がかかりますので、ご理解ください。



(以前の場所から約300mの移設)

* 下記のサイトからインターネット録画でご覧いただけます。

<https://gikai.city.koka.lg.jp/schedule/index.html>

* 一般質問は「6月定例会 - 第4日6月17日」より

* 予算委員会は「6月25日」より



ホームページ



Facebook

たくさんのご意見・ご要望をいただき、
ありがとうございます。

日常の活動は、Facebookをご覧ください。

これからも、あなたの声を聴かせててください！
連絡先は、表紙に記載しております。